

事業者排出量削減報告書

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府長岡京市開田1-1-1										
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	長岡京市長 小田 豊										
事業者の主たる業種	官公庁										
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者(大規模エネルギー使用事業者(原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者(大規模運送事業者(トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者(その他の温室効果ガスの大規模排出事業者(二酸化炭素に換算して3,000トン以上))										
計画期間	20年4月～23年3月										
基本方針	「長岡京市役所地球温暖化防止実行計画」に基づき、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減(-7%)を目指すとともに、西山の森林整備を中心としたCO2の吸収源対策(-1%)の推進に努め、差し排出量を8%削減する。										
推進体制	「長岡京市地球温暖化防止実行計画」及び「環境基本計画実施計画」の中で、推進体制を明確に規定し、計画的な実行を図る。										
	環境マネジメントシステム名称	ISO環境マネジメントシステム									
	適用範囲	市役所庁舎及び浄水場									
	取得年月日	平成14年2月27日									
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容								
	20	市役所庁舎	2階コピー室の照明器具を省エネ型に交換、本庁舎及び分庁舎1の避難誘導灯の一部を蓄光式に交換することにより、電気使用量の削減を図る。								
	21	市役所庁舎	庁舎内に設置する紙カップ式自動販売機をマイカップ対応式に交換し、職員及び来庁者の環境意識の向上を図る。								
	22	市役所庁舎	庁舎の空調設備を省エネ型に変更し、温室効果ガス排出量の削減を図る。								
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度(実績) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)					
	A 事業所等排出区分	3,782 t	3,669 t	-3.0 %	4,040 t	6.8 %					
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%					
	C その他排出区分	t	t	%	t	%					
	排出合計	*1 3,782 t	*2 3,669 t	-3.0 %	*4 4,040 t	6.8 %					
	実績に対する自己評価	市役所庁舎及び浄水場においては、職員の取組等によってエネルギー使用量を削減することが出来たが、今年度の猛暑の影響から小学校及び保育所のエネルギー使用量が増加し、目標年度の値を上回る結果となった。									
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)				
	事務所	二酸化炭素換算 従業員数	0.471 t-CO <sub>2</sub> /人	0.457 t-CO <sub>2</sub> /人	-3.0 %	0.502 t-CO <sub>2</sub> /人	6.6 %				
		二酸化炭素換算			%		%				
		二酸化炭素換算			%		%				
	実績に対する自己評価	職員のエネルギー削減に対する取組はある程度根付いてきているが、使用量が目標年度の値を上回ったため、さらなるエネルギー削減の呼びかけを行いたい。									
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)				報告年度(実績)					
		取組量等 (二酸化炭素換算)				取組量等 (二酸化炭素換算)					
	森林の保全及び整備	(整備面積)	22.0 ha	(吸収量)	131 t	(整備面積)	10.7 ha	(吸収量)	59.2 t		
	府内産の木材の利用	(利用量)	m <sup>3</sup>	(削減量)	t	(利用量)	m <sup>3</sup>	(削減量)	t		
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(売電量)	kWh	(削減量)	t	(売電量)	kWh	(削減量)	t		
		(熱供給量)	GJ	(削減量)	t	(熱供給量)	GJ	(削減量)	t		
	グリーン電力の購入	(購入量)	kWh	(削減量)	t	(購入量)	kWh	(削減量)	t		
	削減量等合計			*3 131 t		*6 59 t					
	差し排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績)	*1 3,782 t	目標年度(計画)	*2 3,538 t	増減率(計画)	-6.4 %	報告年度(実績)	*4 3,981 t	増減率(実績)	5.3 %

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。  
 注2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。  
 注3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。  
 注4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。  
 注5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。  
 注6 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実施、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。